

第9回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日時 平成28年10月20日 (木) 13時30分～14時40分
場所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 グループホームご利用者代表
グループホームご家族代表
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表
特別養護老人ホームご家族代表
知見者代表 (栃尾福祉会理事長)
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員)
長岡市栃尾支所
小規模多機能型居宅介護わしま
(地域密着型複合施設わしま)
地域包括支援センターとちお
法人代表 (いずみ苑園長)
法人代表 (いずみ苑事務長)
特別養護老人ホーム管理者
グループホーム管理者
グループホーム管理者
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 16名

欠席者 特別養護老人ホームご利用者代表 欠員
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表 欠員
長岡市介護保険課 / 計 3名

議事次第

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について
特別養護老人ホーム
グループホーム
小規模多機能型居宅介護
2. 事故及びヒヤリハットの報告について
3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価概要・スケジュール説明
4. 小規模多機能事業所見学
5. その他

開会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

お疲れ様です。みなさんお揃いですので定刻より少し早いですが、第 9 回みやざわ苑運営推進委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。（資料確認）

本日は、長岡市介護保険課が欠席。特養入居者、小規模多機能利用者は欠員です。

グループホームは、管理者 K が委員ですが、M 管理者、今日出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

また、長岡三古老人福祉会、地域密着型居複合施設わしま（小規模多機能型居宅介護わしま）介護支援専門員さんが本日から出席します。わしまさんは、私ども、みやざわ苑とまったく同じ昨年 4 月 1 日に開設しました。事業内容、規模もまったく同じです。私どもみやざわ苑の小規模多機能型居宅介護管理者が、先日からわしまさんの運営推進会議にお邪魔させていただいており、反対にわしまさんから、このみやざわ苑運営推進会議においていただくことになります。ひとこと、よろしくお願いいたします。

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

「これからお世話になります、小規模多機能型居宅介護わしまで、ケアマネジャーです。わしまは、みやざわ苑さんと同規模の施設で、立地も自然豊かな同じような環境です。今後、情報交換していきながら、より一層いい施設を目指してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 経過報告及び入居者・利用者状況について

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

- 地域密着型複合施設みやざわ苑の状況 … 資料に沿って説明する

(別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑の状況 平成28年10月20日現在参照)

○ みやざわ苑行事等経過… スライドと資料に沿って説明する

(別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑行事等経過参照)

前回(第8回)の運営推進会議で食事の検討会を行ないました。その際、皆さんからアンケートを書いていた結果が3~4ページになります。良いお言葉ばかりで、ありがたいかぎりです。ありがとうございました。

(食事検討会アンケート結果別紙参照のとおり。)

続きまして5ページのみやざわ苑の状況です。本日10月20日現在特養は、定員29名。現在員29名満床。平均要介護度は3.9ですが、次回には平均4を超える見込みです。

小規模多機能型居宅介護ですが、現在登録者数18名です。

グループホームですが、定員18名で、10月23日に1名入居され、現在17名です。あともう1人が入りそうになるとキャンセルが出たり、入院していたりと、現在話を進めている所です。補足がありましたら、グループホーム管理者をお願いします。

グループホーム管理者：河村 勝彦

8月に三島病院入院で1名退去されています。9月に入り、なごみの入居者も体調を崩され、もしかか病院へ入院退去され、今月の16日に永眠されました。

それにより、なごみ1名、10月23日に入居予定です。いこいは、検討中です。

小規模多機能管理者

現在の登録者数は先ほどの報告のとおり18名です。今、2名のかたが契約の方向でありご家族と日程調整中です。

2. 事故・ヒヤリハットの報告について

みやざわ苑施設長(特別養護老人ホーム管理者)

8月19日から10月20日までのインシデントは3事業合わせて全13件でした。

今回は、特養と小規模多機能で薬の間違がありました。直近では、特養で10月4日に漢方薬を別のかたに間違えて飲ませてしまったという事故がありました。

10月に職員の人事異動がありまして、人事異動で来たばかりの職員が関わったものでした。他職員からの指示はあったが、お互いの意思疎通が上手くいかず誤認して事故になってしまった。薬については、2回以上のチェックをしていたが、ヒューマンエラーがこのような出ているということでもあります。

小規模多機能管理者

表の上から2番目が誤薬のケースです。時間帯は21時半位で利用者から薬の要求がありました。その時に他の利用者と呼ばれ確認不足で渡してしまったとのこと。

薬のケースを確認すると、眠前薬ではなく朝食後の薬だったことに気づいたという事故でした。

薬のセットは、二重、三重のチェックで行っております。朝昼夕とトレイを分けているが、朝のトレイのすぐそばに頓用薬があったことで、間違えてしまったとのこと。

対応策は、頓用薬は新たにトレイを用意し、朝の薬を早く出しすぎてしまったということもあり朝の薬はしまっておく。朝の薬のトレイセットを準夜勤務者から、朝食の時間に近い深夜勤務の職員が行うこととしました。

グループホーム管理者

グループホームは今のところ誤薬事故はありません。薬の準備は、深夜勤務者が各個人のトレイに分けて入れて、翌日は早出、遅出の職員が本人確認しながら、服薬させております。

ユニットなごみの家で、転倒事故で左大腿部頸部骨折で入院されていたが、10月3日に退院されました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

今回、薬関係が3件ありました。その他は、いつ出来たかわからない擦り傷、内出血、寝ている時にベット柵に当たったとか、動いている時にどこかに当たったとか、そういうものがいくつかあります。

転倒もありました。それと、特養に入居して間もないかたで、碁石を口の中に入れたというのがありました。改善策は、そのかたが何でも口の中に入れて食べてしまうリスクがあるということを職員に周知したことで、現在、囲碁をされるかたがいないこともあり碁石を片付けさせていただきました。事故については記載のとおりですが、質問等があれば、お願いします。

質疑・応答

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

予期せぬ事故とかいろいろあるのですが、事故が起きた後に対策を立ててあるとは思いますが、その後の見直しはどのようになっているのですか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

事故報告をし、その後の改善策を作成すると、週に1回チェックを行い、4週で何も

なければ完了。そうでなければ対応を継続か修正しています。

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

下の入れ歯が見当たらないという報告がある。飲み込むことはないと思うがどうですか？

↓

グループホーム管理者

入れ歯は、飲み込んではいません。確認しています。食事は現在やわらかい物を提供し、それで大丈夫ということで、ご家族も了解しており新しい入れ歯を作るまでには至っていません。現在、そのまま、残歯もかなりあるかたなので様子を見ています。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

事故報告は、前回もこの位の件数があがっていますが、何かアドバイスか情報などがあればありがたいのですが？

↓

長岡市栃尾支所

市に事故報告であがってくるケースは、デイサービス送迎時の事故が多い印象があります。今回みやざわ苑からいただいた資料を見て、新たに発見したものも改めてうなづく部分もありました。

また、服薬管理の事例が多いことが実感としてあります。それぞれの入居者毎に薬の種類などの違いがあるので、最初に契約して入居された時点で、情報共有をはかったりなど整理していると思いますが？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養だと朝は青いケースとか、昼は黄色、夕かたは赤というふうにしています。最初にケースに入れ分けたときに間違っなければまずは良いのですが、実際に服用するときに、名前が似ていたりとか、人のいる場所が近かったりとか、見たつもりで見ていなかったとか、今までそういったところでミスが出ている。最終チェックもしてはいるが、結果としてできてなかったということです。

いずみ苑はどうでしょうか？

↓

法人代表（いずみ苑事務長）

いずみ苑も、薬に関連する事故も含めて同じような感じがあります。

法人代表（いずみ苑園長）

最近、大きな転倒事故がありました。重大骨折事故で、現在その対応を生活相談員を

中心にやっているところです。職員は協力してやっているが、事故が多く起きるということは、職員体制の整備・充足を押しはからなくてはならないと思っています。

このことと同じように、いつ、どこで、あざができたのかわからないという報告が多いです。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

傾向として、わしさんは、似たようなケースがありますか？

↓

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

この碁石の件に似たような事例で、おっかないことがありました。事業所では発見できなかったが、受診しレントゲンで喉の奥にジグソーパズルの形が写って、やっと気づいたという事故がありました。3センチ×3センチかけら位のものが、のどの奥に縦にはさまっていて、大きなジグソーパズルでした。物の管理とか、利用者の日々の行動とかの変化に常に気づいていかないと、私たちのわからないところで事故につながっていくんだということを、あらためて思い出しました。

小規模多機能型居宅介護ご利用者代表

転倒とか大きな事故につながるというのが、今までにも何度もあがっているが、洗面や居室に戻る際には職員はきちんとついて行っているのでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

表の中央に、発生時状況のところ、「介助中」、「介助中もしくは目を離したとき」という表現がありましたら、職員がついているか、見守りの範囲にいるということです。「不明」、「その他」につきましては、普段は見守りなしというケースが多いです。職員が見てないところで動かされて転んだとか、寝ていてベッドから落ちたとかそういったものです。グループホームはどうでしょうか？

↓

グループホーム管理者

ケアプランに転倒注意を挙げているかたは、きちんとついていきます。そうでないかたは、自由に居室で歯磨きしたり、トイレに行かれたりしております。ワンフロアなので見える範囲は見ているが、居室の入り口戸を閉められると見えませんので、物音で判断するしかできない状況です。時間帯によっては、1ユニットに職員が1人ということもあり、1人の人を対応していると、もう1人の人が動かれると目が届かない状況がどうしても発生します。

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

服薬（誤薬）に関しては、職員のエラーということであろうかと思えますし、改善、努力をしていることだと思えますが、事故・ヒヤリハットの記録は個別には全部記録してあるのでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

事故かヒヤリハットが起きますと、まず発生報告があります。その後、報告書裏面に改善策等を書くようになっています。個別に1件毎のシートがあります。

↓

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

個別シートがあるのなら、それを職員が活用して、個別のご利用者の特性を把握しておくのが大切だと思います。すでにやっておられることと思いますが、そういったことをやり、ご家族とのコミュニケーションを普段から十分に図っておかないと、いざ事故といったときに対応が難しくなると思うので十分に気をつけていただきたい。

特別養護老人ホームご家族代表

改善策が出て、その結果として同じような事故の件数が減っていればいいのですが、増えているということになると、実際に改善策が効果をあげているのでしょうか？ 改善策を立てた後の流れはどのような感じなのでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

普通に考えれば、事故もヒヤリも減っていくのだと思いますが、実際に減っていません。対応できたケースもありますが、改善策のとおり対応したものの、再び類似の事故が起きたということもあります。かかわったユニットでの検討の後に、事業所毎にも検討しています。しかし、実際に減ったかどうかということになりますと、完全には減っていません。今、このようにお話していて、分析、検討、周知が不十分なのだと思いためて思いました。

特別養護老人ホームご家族代表

そうですね。他の事業所さんの取り組みも参考にされてはいかがかと思いますが、わしまさんはいかがでしょう？

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

こういった事故が起きた時には、まずはその事業所だけでの検討会で事故に至る経緯や事故後の対応を見直す意味での会議を行ないます。職員全員に周知して、改善策を共有して対応を実施していき、1か月後、2か月後に評価という形になっています。そこで対応がしっかりなされていれば完了です。それでも不安だとなれば、改善の余地のあ

るところを変えて行きます。1回決めたらそこで終わりではなくて、評価して行きながら改善策を変えていくようにしています。まったくないわけではないですが、同じような事故はほぼ起きておりません。

知見者代表（栃尾福社会理事長）

勤務形態からして交替勤務ということになると、スタッフ全てが揃って検討して改善策を構築するのは不可能な状況かと思うし、利用者のかたも日々状態が変わると思う。改善策を立ててこれで終わりみたいな気持ちがあるかもしれないが、そういう事ではなくて改善策をいかに実現していくか、交替職員も検討に加わらなかった職員もよく認識できるような方法を工夫していかなければ、いつまでも件数的なものは減らないと思います。利用者も日々、状態が変化しているので、職員の体制に即応した対応を考えていていただきたい。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

転倒などは、わりと同じ人が繰り返す傾向にあり、改善策に沿った一定の対応をとれていると思っております。

やはり今の課題は薬で、何度も仕組みを変えてやってもこういうことになってしまっているの、仕組みの仕組み自体から考えなおしていきます。

地域包括支援センターとちお

他の施設の会議では、事故防止のスローガンを毎月、事業所ごとに設定しているところもあり。事業所全体に事故防止を周知し、心がける方法として、いいなと思いました。参考になればと思います。報告書が数字等で具体的にあって解りやすく良いと思いますが、さらに見やすくする方法として、事業所ごとに分けていただくと、事業所の事故の傾向がわかりやすいかなと思いました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ありがとうございました。確かに日付で分けてあるだけなのでそのとおりだと思いました。

法人代表（いずみ苑園長）

13件の事故報告のうち、1人のかたが3件起こしているが、そのかたに対してもっと目配り気配り等が必要なのではないか。内出血等をしやすい人なのか？そういったことの検討はされているのですか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

表の下から 5 番目の 86 番は間違いです。(本人と数字があっていない。) 同じかたが 3 件ではなく 2 件の間違いです。ID86 が 3 件続いています、ID 間違っており別人です。グループホームのかたです。すみませんでした。

実際 ID86 のかたは碁石の件もあり、どんな行動が出てくるのか、また歩行自体も心配がありますので、できうる限り目を配らなければならないです。

3. 小規模多機能居宅介護事業所評価概要・スケジュール

資料は別紙 3 枚「地域かかわりシート①」です。

昨年度とメンバーがほとんど変わっておりませんので、皆さんは既に 1 回やっていたこととなります。今回は 2 回目の評価ということで、前回の改善策が加わったり、変わったところもありますので説明をいたします。

現在、事業所自己評価自体がまだでき上がっておりません。

予定としまして、次回の運営推進会議の前に「事業所評価・ミーティング様式」と「地域かかわりシート①」を郵送いたします。お手数ですが、それをご記入いただき、次回運営推進会議のときにご持参くださいますようお願いいたします。

具体的な記入方法をご説明します。「外部評価 地域かかわりシート①」の 1~3 ページ A~F のところにチェックし次回運営推進会議の時に持参いただき、細かくできているところや、そうでないところ、改善策等を記入していただくこととなります。最終ページ【記入例】A、「自己評価の確認」は、事業所評価がまだできあがっておりません。できあがり次第郵送させていただきます。振り返りシートを読んでいただき、A の項目のところは、適当と思われる箇所にレ点を記入していただくこととなります。わかりづらいところもありますが、A の項目は、次回の運営推進会議のときに説明いたしますので、説明を聞いたうえで記入していただいてもよろしい項目です。

最初のページの B についてです。前回は初めてということで、ナンバーゼロのところは空欄でよかったのですが、今回は記入をお願いします。

前回皆様からご意見をいただいて改善計画としたものが、B~F にそれぞれあります。ここは、改善計画に取り組んでいたか、どうかを記入していただきます。

各項目 1~4 は、前回と同様に主観で自分の思ったところをチェックして下さい。

12 月の運営推進会議のときに、項目に沿ってすすめますので、チェックしたところで挙手していただくことで人数を把握します。また、意見等をいただきたいと思えます。

前回の改善計画についても皆様から意見をいただくこととなりますので、少し説明を付け加えます。

B「事業所のしつらえ・環境」では、看板(小規模多機能へようこそ)を事業所の小規模入り口やエレベーター脇に置きました。花植えは、今回は家族協力会等でしていただきましたが、他事業所との接点作りは、なかなか進んでおりません。

C「事業所と地域のかかわり」では、事業所の案内チラシを作成し、地域に回覧させていただいています。ゴミ拾い、落ち葉拾いもグループホームと合同で行っています。

D「地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み」では、11月にある地域の文化祭に、はじめて利用者の作品を出展します。それ以外は、まだ現在の現状です。

E「運営推進会議を活かした取組み」では、事故報告に不十分な箇所ありとご意見をいただきました。みやざわ苑全体で改善させていただきたいと思います。

F「事業所の防災・災害対策」では、1階掲示板に年間の防災計画と、災害時の各職員担当を掲示しております。事業所案内・回覧用チラシには、普段行っているサービスは明記しているが、災害時の部分が不足しております。以上が前回の改善計画の説明です。

次回、運営推進会議の時に、ご意見いただき、それを参考にして改善計画を立てて2月の運営推進会議で皆様に提示させていただきます。

チェックは、「はい」「いいえ」で、とわからないところは、「わからない」で良いです。以上です。

法人代表（いづみ苑園長）

質問の聞きかたが、「はい」「いいえ」になじまないところがありますが？

↓

小規模多機能管理者

前回と同様に考えていただければと思います。みやざわ苑ばかりではなく、全国の事業所が使用する統一された様式です。質問内容にもかなり実現が難しいものもあります。

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

Eの運営推進会議の項目で、2と3についてはどういうことなのでしょう？

↓

小規模多機能管理者史

ここだけでなく、やってみて、厳しいというか、なかなか難しい項目で、特にE-2の項目で運営推進会議で、地域のご利用者でないかたの事例検討などは、難しいのではないかと思います。昨年の評価後に各事業所から意見が挙がってきた項目です。

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

実際、活動の中にE-2や3の様な項目があるのであれば、その様な取り組み等をしていかななくてはならないと思いますが？

↓

小規模多機能管理者

一応、地域密着であり、地域の利用者や登録者だけでなく、本来であればそこまでいければすばらしいという項目です。実際出来るかということ、難しい項目です。

↓

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

推進会議事例検討や地域活動等も行ないなさいということなののでしょうか？

↓

小規模多機能管理者

できれば行って欲しい、行えればより良い。ということで解釈しています。

↓

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

事例検討に関しては、地域の色々な問題点や意見等を聞きながら解決していこうという話にはなっていますが、ここの利用者ではないということで、そのかたのプライバシーの問題が出てきている。それを、了解を得た形で運営推進会議で挙げて話し合うというところで少しやりづらいという点があります。

その他、地域の活動とか行事などに参加して行きながら地域と施設が一緒にやって行こうという取り組みに関しては、私たち事業所からもアピールしなくてはならないし、もっと出て行かなくてはならないと思いますし、そういったところは運営推進会議でいろんな立場のかたから、行事にこういうふうに参加したらいいとか、ご意見をいただきながら、事業をしていきたいと考えています。

↓

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

E-3 の所で、「地域での取り組みを一緒に取り組もうとしていますか？」の項目で、ここの事業所の地域での取り組みでしょうか？皆さんと一緒に清掃活動を行うとか、花火見物を一緒にした等のときに、推進委員のかた々も一緒に参加して下さいということなののでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

地域で心配しているかたの他県の事例で、妻を介護されている男性のかたが、認知症のある妻の介護を、自分ひとりではお手上げだということで、地域包括を通じて運営推進会議に知恵を貸して欲しいというのが実際にあり、運営推進会議で検討して、見守りは、どこどこが協力するとか、そういった所まで決めていったというのを見たことがあります。

↓

知見者代表（栃尾福祉会理事長）

地域ケア会議と混同していないでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

運営推進会議の事例です。

↓

知見者代表（栃尾福社会理事長）

なかなか難しいですね。

↓

小規模多機能管理者

この問題が実際どうかというと難しいところはあるのだと思います。

↓

地域包括支援センターとちお：清水 真弓

私の出席している他の運営推進会議でも、この項目は疑問が出ました。実際、どうして行ったらいいのか？結局、結論は出ないままでした。何を本当に求めているのかがわからない。具体的に、こうしなさいとか挙げられている訳でもないですから。

↓

法人代表（いずみ苑園長）

次回までに、聞くなりして、調べておいてはどうでしょうか？

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

わかりました。小規模多機能居宅介護事業所評価概要・スケジュール説明については以上でよろしいでしょうか。

4. 小規模多機能型居宅介護事業所見学

小規模多機能の管理者が案内する。

5. その他

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

最後に、初参加のわしまさんから、感想など一言賜りたいのですが。

小規模多機能型居宅介護わしま介護支援専門員

運営推進会議というと、会議室などのかたいイメージを持っていましたが、この様なオープンな場所でやったほうがいろんな意見が言い合えていいのかなと思いました。

事業所をオープンにして、様々な意見をいただきながら、地域に入っていかなければならないところも沢山あるのだと思います。

事業所だけのサービスで完結してしまっているところが実際多いのですが、利用者の生活と地域とを繋げていけるような考えかた持っていけるように、みやざわ苑と運営推進会議のメンバーの皆さんの意見をいただきながら、これからもお願いしたいと思って

います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

たいへんありがとうございました。以上で運営推進会議を終了します。

○次回運営推進会議開催日について

平成28年12月15日（木曜日）13時30分～14時30分